

## 八障連運営委員会議事録

2018年4月7日（土）13:30～15:30

クリエイトホール 試食コーナー

参加者：杉浦氏、鈴木氏、土居氏、池谷氏、脇田氏、小濱氏、有賀氏  
渡辺氏（オブザーバー参加）

委任：立川氏、後藤氏、夢田氏

司会：土居氏 記録：有賀氏 議事録署名人：小濱氏

議題として、H30年度の八障連の活動について、その方向性について顧問の方も出席いただいて議論した。

- そもそも八障連の成り立ちとして、福祉センター設立もあったが、障害者団体同士の無理解なども課題としてあった。
- 行政との窓口としての機能を担っている。
- 他障害の理解の場となっている。
- しかし、催しなどに会員団体の参加は少なく、会員同士の理解の場、交流の場は少ない現状がある。
- 人手不足の問題。事業所職員のサラリーマン化していないか。
- 昔から運営委員は少数であったが、現場のありようが今は昔と違い忙しい傾向を感じる。
- 八障連そのものを知らない人も多いのでは。
- 担い手確保の交流会が必要ではないか。
- 当事者が楽しめる企画もあると良い。

以上、意見があり、現時点では下記の確認を行った。引き続き4月19日の運営委員会で議論することとなる。

- ❖ 福祉課懇談会、市議懇談会、福祉フォーラムを柱にして人手不足であるが対応をしていく。
- ❖ 通信は後任者がほっとスペース八王子から出たので、まずは月1回の発行を目指していく。

以上、議事録に相違ないことを認めます。

2018年4月7日

記録：有賀 豊

議事録署名人：小濱 義久